一般競争入札公告

◎寒地土研

☆申請期間＝9月5日まで（郵送の場合は9月4日必着）
☆開札日＝9月19日
【非常用発電設備ほか改修】
▼工事概要
▽工事場所＝札幌市
▽工事内容＝一式
▽工期＝27年3月27日まで
▼入札参加要件
▽電気A・B
▽元請実績＝十一年度以降、電気設備の新築、増築、改修

◎森林管理帯広

☆申請期間＝9月4日まで
☆開札日＝9月25日
【観示守山林道新設】＝根釧東部署
▼工事概要
▽工事場所＝中標津町
▽工事内容＝二、四四六㍍、路盤二、四四六㍍、上層路盤六八五立方㍍、下層路盤二一一立方㍍、路盤材小運搬八九六立方㍍、溝渠三〇・七一㍍
▽工期＝27年3月11日まで
▼入札参加要件
▽土木A・B・C・Dの単体、経常JV
▽元請実績＝十一年度以降、林道事業における新設、改良、災復または林道規程の構造・規格に準ずる保安林管理道または作業道の新設

◎道警共済組合

☆申請期間＝9月1日まで
☆開札日＝9月17日
【東署北中央交番新築】
▼工事概要
▽工事場所＝札幌市
▽工事内容＝交番庁舎＝補強コンクリートブロック造二階九三・八平方㍍、掲示板アルミ製一基等
▽工期＝150日間
▼入札参加要件
▽建築A～C。石狩・空知管内に主たる営業所
▽元請実績＝十一年度以降、履行額二五〇万円以上の新築・改築・改修
【滝川署駅前交番新築】
▼工事概要
▽工事場所＝滝川市
▽工事内容＝交番庁舎＝補強コンクリートブロック造二階九三・八平方㍍、掲示板アルミ製一基等
▽工期＝150日間
▼入札参加要件
▽建築A～C。石狩・空知管内に主たる営業所
▽元請実績＝十一年度以降、履行額二五〇万円以上の新築・改築・改修
【西署八軒交番新築】
▼工事概要
▽工事場所＝札幌市
▽工事内容＝交番庁舎＝補強コンクリートブロック造二階九三・八平方㍍、掲示板アルミ製一基等
▽工期＝150日間
▼入札参加要件
▽建築A～C。石狩・空知管内に主たる営業所
▽元請実績＝十一年度以降、履行額二五〇万円以上の新築・改築・改修
【門別署日高駐在所新築】
▼工事概要
▽工事場所＝日高町
▽工事内容＝駐在所庁舎木造二階一五九・五七平方㍍、掲示板アルミ製一基等
▽工期＝130日間
▼入札参加要件
▽建築A～C。日高・空知・十勝管内に主たる営業所
▽元請実績＝十一年度以降、履行額二五〇万円以上の新築・改築・改修

◎函館建管

☆申請期間＝9月1日まで
☆開札日＝9月25日
【今金出張所管内海岸漂着物回収】
▼業務概要
▽業務場所＝せたな町
▽業務内容＝せたな町海岸一塵芥・流木処理一式
▽履行期限＝12月22日
▼入札参加要件
▽一般土木C以上の単体。渡島・桧山管内に主たる営業所
▽元請実績＝十一年度以降、一般土木、一般土木業務（伐開、流木処理、海岸漂着物回収等）、道路施設清掃業務
【上ノ国ダム総合流域防災システム改良】
▼業務概要
▽業務場所＝上ノ国町
▽業務内容＝演算処理装置ソフト改良一式
▽履行期限＝27年3月20日
▼入札参加要件
▽電気Aの単体
▽元請実績＝十一年度以降、公共土木施設の情報システム機器を施工した工事（システムソフトウェアの開発含む）または公共土木施設の情報システムのソフトウェア作成もしくは改造を行った業務

◎渡島総振林務

☆申請期間＝9月2日まで
☆開札日＝9月24日
【静浦地区予防治山】
▼工事概要
▽工事場所＝松前町
▽工事内容＝伏工一、二六〇平方㍍
▽工期＝27年3月10日まで
▼入札参加要件
▽森林土木Aの単体、経常JV。単体は渡島・桧山管内に主たる営業所。JV構成員は道内に主たる営業所を有しかつ一社以上が渡島管内に主たる営業所。構成員はB以上で同一または直近等級との組み合わせ
▽元請実績＝十一年度以降、国、道、市町村が発注した六三〇平方㍍以上の現場吹付コンクリート法枠または斜面安定工（鉄筋挿入工）
【浦和地区予防治山】
▼工事概要
▽工事場所＝福島町
▽工事内容＝暗渠二九〇・五㍍、法枠一、三八七・四平方㍍、伏工五六一・二平方㍍、法切四七立方㍍
▽工期＝27年2月10日まで
▼入札参加要件
▽森林土木Bの単体、経常JV。単体は管内に主たる営業所。JV構成員は道内に主たる営業所を有しかつ一社以上が管内に主たる営業所。構成員はB・Cで同一または直近等級との組み合わせ
▽元請実績＝十一年度以降、国、道、市町村が発注した六九〇平方㍍以上の現場吹付コンクリート法枠
【森林管理道佐女川線開設】
▼工事概要
▽工事場所＝木古内町
▽工事内容＝二八〇×四㍍（車道幅員三㍍）＝土工一式、排水施設一式
▽工期＝27年3月10日まで
▼入札参加要件
▽森林土木Bの単体、経常JV。単体は管内に主たる営業所。JV構成員は道内に主たる営業所を有しかつ一社以上が管内に主たる営業所。構成員はB・Cで同一または直近等級との組み合わせ
▽元請実績＝十一年度以降、国、道、市町村が発注した施工延長一四〇㍍以上の道路

◎胆振総振森林

☆申請期間＝9月2日まで
☆開札日＝9月30日
【興厚真地区小規模治山】
▼工事概要
▽工事場所＝厚真町
▽工事内容＝No.2床固（木製）七九・二立方㍍、流路（木製）七・三㍍
▽工期＝12月19日まで
▼入札参加要件
▽森林土木Cの単体。胆振管内および夕張市・由仁町に主たる営業所
▽元請実績＝十一年度以降、治山・林道で契約金額五〇〇万円以上
【293林班地先小規模治山】
▼工事概要
▽工事場所＝蒲幌町
▽工事内容＝実播、筋工ほか
▽工期＝27年1月30日まで
▼入札参加要件
▽森林土木Cの単体。管内または釧路市音別町、白糠町に主たる営業所
▽元請実績＝十一年度以降、概ね同規模工事
【道東林道維持】
▼工事概要
▽工事場所＝釧路市音別町
▽工事内容＝路盤、排水施設ほか
▽工期＝11月20日まで
▼入札参加要件
▽森林土木Cの単体。管内または釧路市音別町、白糠町に主たる営業所
▽元請実績＝十一年度以降、概ね同規模工事
【69林班施業道本線1号ほか3維持】
▼工事概要
▽工事場所＝釧路市音別町
▽工事内容＝路盤、排水施設ほか
▽工期＝11月20日まで
▼入札参加要件
▽森林土木Cの単体。管内または釧路市音別町、白糠町に主たる営業所
▽元請実績＝十一年度以降、概ね同規模工事

◎十勝総振森林

☆申請期間＝9月1日まで
☆開札日＝9月25日
【293林班地先小規模治山】
▼工事概要
▽工事場所＝蒲幌町
▽工事内容＝実播、筋工ほか
▽工期＝27年1月30日まで
▼入札参加要件
▽森林土木Cの単体。管内または釧路市音別町、白糠町に主たる営業所
▽元請実績＝十一年度以降、概ね同規模工事
【道東林道維持】
▼工事概要
▽工事場所＝釧路市音別町
▽工事内容＝路盤、排水施設ほか
▽工期＝11月20日まで
▼入札参加要件
▽森林土木Cの単体。管内または釧路市音別町、白糠町に主たる営業所
▽元請実績＝十一年度以降、概ね同規模工事

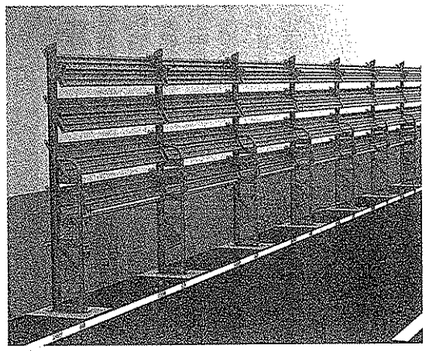
◎恵庭市

☆申請期間＝8月27日まで
☆開札日＝9月1日
【柏木西12号線ほか2改良舗装〈事後審査〉】
▼入札参加要件
▽土木の総合点九七〇点以上。市内に出張所等
▽元請実績＝類似・同規模工事
▼予定価格＝四二、五八〇、〇〇〇円（税抜）
☆申請期間＝8月29日まで
☆開札日＝9月8日
【恵庭東37番線ほか2改良舗装〈事後審査〉】
▼入札参加要件
▽土木の総合点九七〇点以上。市内に出張所等
▽元請実績＝類似・同規模工事
▼予定価格＝六七、〇一〇、〇〇〇円（税抜）

理研興業・砂子組が共同開発

高輝度SMDを用いた防雪柵による視線誘導

防雪柵メーカーの理研興業㈱（小樽、柴尾耕三社長）は、㈱砂子組（奈井江）と共同で「高輝度SMDを用いた防雪柵による視線誘導方法」を開発した。発案は、砂子組の技術顧問である佐藤昌志氏であり、両社は長年培った技術と実績で、雪国の交通安全をサポートできる視線誘導方法の開発に成功した。



発光効率が良く、照射角度が大きいライン状SMDが、視程障害時のドライバーをサポートする

近年、降雪地域での多重衝突事故が頻発しているが、これはホワイトアウトと言われる特有の視程障害が原因と考えられ、まったく前が見えない状況下でドライバーの視界が遮断され、周囲の状況や位置認識ができなくなることが事故を招いている。

両社で開発した技術は、防雪柵に高輝度SMDを用いたライン状に発光した光の連続照明による視線誘導方法。視程障害が発生している状況下において、視界からのライン光でドライバーを安全に誘導し、安心感を与えサポートすることを目的としている。

高輝度SMDは、一般的なLEDと比べ発光効率、照射角度ともに大きく、防雪板に取り付けることで、道路線形に沿った視線誘導が可能となる。

高輝度SMDは、LEDと同じ原理で発光するが、消費電力は同等であり、発光効率がLED（砲弾型）の70ルーメン毎㍗に対して100ルーメン毎㍗、照射角度も70度に対して120度と大きいのが特徴。

同時に、赤外線センサーを併用することで気象条件に伴う視程障害の状況を発光と発光色の変化によりドライバーへ情報提供する。

また、高輝度SMDの取り付けは専用器具により、新設だけではなく既設の防雪柵への設置も可能だ。

道路線形に応じ、吹雪や濃霧時の視程サポート

その効果は、理研興業が所有する風洞実験装置において高輝度SMDの視認性実験と赤外線センサーによる感知実験で確認済であり、屋外での試験柵を使用した視認性実験でも結果は良好。現在、フィールドによる実証実験の検証を進めている。

理研興業の担当者は、「冬期のホワイトアウト対策だけではなく、ライン光での視線誘導は濃霧などの状況下でも効果的であると考えている。ドライバーへ状況認識をさせ、安心感を与えることは安全性を向上させるとともに、これからの高齢化社会に向けても交通安全を通し貢献できる技術と考えている」と話している。

なお、この技術はことし二月に行われた公益社団法人土木学会北海道支部の技術研究発表会で論文発表している。

また、六月四・五日に宮城県で開催された「EE東北2014」に出展した際には、模型を使用したデモンストレーションとプレゼンテーションを実施し好評を博している。

今後は、八月に実験場（江別市）での発煙実験と本年度の冬期には本格的なフィールド実験（石狩市）を踏まえた実際の設置を行う予定。交通事故の減少と交通安全向上に寄与するため、来年度には技術の普及を積極的に行う考えだ。